

人間国宝

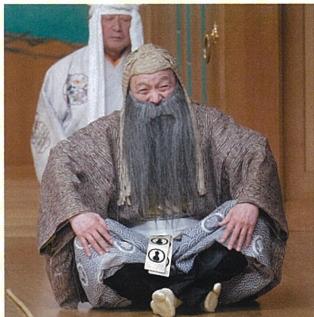
野村万作、野村萬斎、野村裕基の三世代が出演!

野村万作・萬斎

狂言の世界 2023

～狂言三代～

夏休みに
ご家族揃って
お楽しみ
ください!!



野村万作「舟渡聟」



野村萬斎「首引」



野村裕基「舟渡聟」

2023年 8月26日(土)

開場 14:30

開演 15:00

公演時間／2時間

上野学園ホール(広島県立文化芸術ホール)

〒730-0001 広島県広島市中区白島北町19-1 Tel: 082-223-6367

S席(指定) 7,700円(税込) A席(当日指定) 5,500円(税込)

チケットのお求めは

- エディオン広島本店(東館9F)
- さくらびあ事務室
- チケットぴあ
- ローソンチケット
- イープラス
- CNプレイガイド <https://www.cnplayguide.com>(パソコン・携帯)

☎ 082-247-5111

☎ 0829-20-0111

【Lコード: 61546】

【Pコード: 519-933】

<http://eplus.jp>(パソコン・携帯)

【主催】中国放送

お問合せ



Shimizu

Entertainment and Performance Since 1920

(株)清水芸能企画 Tel. 082-292-0080 (平日10~17時)

二〇二三年八月二十六日(土)

上野学園ホール

解説 野村 萬斎

狂言 「梶山伏」

山伏／野村太一郎
兄／深田和治
弟／高野博治
後見／内藤連

狂言 舟渡聟

船頭・舅／野村萬作
姑／石田裕基
聟／野村万作
後見／中村修一

休憩二十分

狂言 首引

鎮西八郎為朝／親鬼
姫鬼／飯田萬斎
眷属／内藤萬斎
眷属／高野萬斎
眷属／中村萬斎
眷属／深田萬斎
後見／岡萬斎
野村萬斎
裕基 聰史 修一 治博 和憲 連豪 斎

「梶山伏」(ふくろやまぶし)

山から戻って以来、様子がおかしい弟を心配した兄は、山伏に祈祷を頼みにいく。山伏が弟の様子を見て祈り始めると、弟はうつろな目つきで鳴き声をあげる。聞けば弟は山で梶の巣にイタズラをしたことが分かる。梶が取り憑いたものであろうと、山伏は懸命に祈るのだが、症状はますますひどくなるばかり。そしてついには…。

梶の鳴き声が印象的な楽しい演目です。観ている皆さんの中にも、梶の鳴き声がこびりついて離れなくなってしまうかもしれませんね。

「舟渡聟」(ふなわたしむこ)

京都から初めて妻の実家に挨拶に行く聟が大津松本から渡し舟に乗る。酒好きの船頭は、聟の持つ酒樽に目をつけ振舞うよう迫るが、断られると、舟を漕ぐのをやめたり、激しく揺らしたりして強引に無心する。聟は仕方なく酒を飲ませ、軽くなった酒樽を持って舅宅へ出向く。やがて外出していた舅が帰宅するが、舅は聟の顔を見てびっくり仰天。舅こそが先ほどの船頭だったのだ。舅は様を変え、顔を隠して対面するのだが…。

舟に乗っている様子が棹一本で表現されるなど、狂言のマイムとしての面白さがあります。舅と聟の掛け合いの妙をお楽しみ下さい。

「首引」(くびびき)

播磨の印南野を通りかかった鎮西八郎為朝の前に鬼が現れる。娘の姫鬼に人の食い初めをさせたいという鬼に、為朝は、姫と勝負して負けたら食われようと提案する。親鬼は恥ずかしがる姫を説得して腕押し・すね押しをさせるが、豪傑無双の為朝にはかなわない。苦戦する我が子に気が気でない親鬼は、ある策を思いつき…。

源為朝は源頼朝や義経の叔父にあたり、保元の乱の活躍で高名な武将です。豪胆な英雄に対し、可憐な姫鬼を華麗かつ懸命に応援する親鬼。人以上に子煩惱な鬼の姿に、思わず顔がほころびます。さて、この勝負の行方は?

主な出演者

野村 万作 のむら まんさく



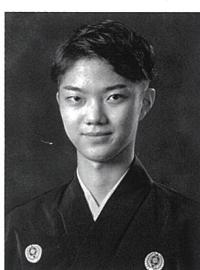
1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ品格ある芸で、国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、長谷川伸賞、旭日小綬章、中日文化賞、ニューヨーク・ジャパンソサエティ賞等、多数の受賞歴を持つ。02年早稲田大学芸術功労者として表彰を受ける。練馬区名誉区民。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『法螺侍』『敦一山月記・名人伝一』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の指導にも尽力。著書に『太郎冠者を生きる』(白水社uブックス)、『狂言を生きる』(朝日出版社)等。練馬文化センター名誉館長。

野村 萬斎 のむら まんさい



1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、「敦一山月記・名人伝一」『マクベス』『子午線の祀り』『能狂言『鬼滅の刃』』『ハムレット』はじめ古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞等受賞多数。21年観世寿夫記念法政大学能楽賞、22年松尾芸能大賞受賞。石川県立音楽堂邦楽監督、東京芸術大学客員教授。(公社)全国公立文化施設協会会长。

野村 裕基 のむら ゆうき



1999年生。野村萬斎の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶應義塾大学法学部卒業。3歳の時に『駒猿』で初舞台後、子方として国内外を問わず多数の舞台に出演。17年『三番叟』、20年『奈須与市語』、22年『釣狐』を披き、「万作の会」の若手狂言師の一人として舞台を勤めている。23年3月、舞台『ハムレット』(世田谷パブリックシアター、野村萬斎演出)でタイトルロールのハムレット役を務めた。能楽協会会員。

卓越したテクニックと繊細で多彩な表現で、
箏の新たな世界を切り拓く、
若き俊英LEOによるリサイタル公演をお楽しみください。

©日本コロムビア

LEO

LEO 箏リサイタル 2023 -GRID//OFF-

LEO(箏)

1998年横浜生まれ。9歳より箏を始め、カーティス・パーターソン、沢井一恵の両氏に師事。
16歳でくまもと全国邦楽コンクールにて史上最年少・最優秀賞・文部科学大臣賞受賞。一躍脚光を浴び、2017年19歳でメジャーデビュー。同年、東京藝術大学に入学。「情熱大陸」「題名のない音楽会」「微子の部屋」など多くのメディアに出演。セバスティアン・ヴァイグレ、井上道義、秋山和慶、東京フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団などと共に演奏。
2021年には鈴木優人指揮・読売日本交響楽団との共演で、藤倉大委嘱新作・箏協奏曲を世界初演。
2022年には箏奏者として初めてブルーノート東京でライブを開催。また、同年SUMMER SONICに異例の出演を果たしたことでも話題を集めました。
出光音楽賞、神奈川文化賞未来賞受賞。伝統を受け継ぎながら、箏の新たな魅力を追求する若き実力者として注目と期待が寄せられています。



多久潤一朗

フルート

無数の特殊奏法や民族楽器の奏法を駆使し自作自演を主軸に活動中。
東京藝術大学在学時より現代音楽を中心に活動を始め、国内外の作曲家の新作初演を多数手がける。ソリストとしてもこれまでに新日本フィルハーモニー管弦楽団はじめ数々のオーケストラと協奏曲を共演した。
また自身がリーダーを務める次世代型フルートトリオ『マグナムトリオ』はイギリスやカナダ、ロシア、韓国他様々な国の音楽祭からオファーを受け招待公演を行なっている。
TV・CM・映画音楽などのレコーディングは年間100本を超え、アニメ『鬼滅の刃』や米津玄師「パブリカ」、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」、映画『海街dairy』、Nintendo Switch「スーパーマリオ」「ゼルダの伝説」シリーズなどのフルート及び和笛、民族笛などを担当。



ロー磨秀

ピアノ

桐朋学園大学音楽学部を経てパリ国立高等音楽院のピアノ科および修士課程を、審査員満場一致の最優秀および首席で卒業。

国内外で数多くのコンクール歴を持ち、日本・欧州各地でリサイタルも開催し幅広い活動を行っている。

2021年9月、クラシックアルバム『Mélangé』でCDデビュー。

また、シンガーソングライターとしての一面を持ち、2019年配信シングルのデビュー以降、サブスクのプレイリストに複数選ばれ、2020年6月のアルバム『LOST2』では各種タイアップを獲得している。作詞提供や楽曲提供でも活動の幅を広げている。

予定曲目

J.S. バッハ : 目覚めよと呼ぶ声が聞こえ
C. ドビュッシー : 月の光

宮城道雄 : 春の海
今野玲央 : Deep Blue

坂本龍一 : 1919
ほか

2023 9/18 月・祝 開場 12:30
JMSアステールプラザ(大ホール) 開演 13:00

S席 5,000円 (指定・税込)
広島県広島市中区加古町4-17 A席 4,000円 (当日指定・税込)

チケットのお求めは

- エディオン広島本店 Tel. 082-247-5111
 - さくらびあ事務室 Tel. 0829-20-0111
 - ローソンチケット
 - チケットぴあ
 - イープラス
- 【Lコード : 62810】
【Pコード : 242-565】
<https://eplus.jp> (パソコン・携帯)

【主催】中国放送

お問合せ



Shimizu

Entertainments and Performance Since 1920

Tel. 082-292-0080 (平日10~17時)